



発行 / 日本共産党  
那珂市議会議員  
**木村 静枝**  
菅谷 4494-1  
TEL/FAX 029-298-2064

国民の立場でわかりやすく  
真実を報道し解決策を示す

**しんぶん 赤旗**

日刊 2900 円 / 日曜版 800 円  
ぜひお読みください

議会報告 117 2005 年 7 月 25 日

# 65歳以上、年間所得125万円以下の人 税金が取られるようになります

平成一七年度第二回那珂市議会定例会が六月六日から二十日までの十五日間開催されました。

条例改正や平成十六年度旧瓜連町の打ち切り決算の認定、補正予算など二十四件が提出可決されました。

日本共産党の木村静枝議員は那珂市税条例の一部改正「年齢六十五歳以上の者のうち前年の合計所得金額が百二十五万円以下の者に係る非課税措置を廃止する改正」については「高齢者の負担が重くなる」と、ただ一人反対しました。

今回の一般質問は前回より四名多い十四名でした。

## 原子力事故に対し抗議書提出

原子力施設で原子力事故が相次いでいます。那珂市の近隣施設でも連絡があったものだけでも六月に三回もあります。

那珂市議会として、このまま見過ごすことはできないと抗議することに決め、議会最終日の二十日、代表が核燃料サイクル開発機構に申し入れにいきました。

## 抗議書

### 放射能汚染に関する抗議

この度の、プルトニウム転換技術開発施設における、放射能汚染事故は、原子力施設ではあってはならないことであり、甚だ遺憾である。このような事故が頻発することは、大事故につながる恐れがあり、嚴重に抗議する。

那珂市民は、JOCの事故以来、原子力関連施設の事故に対して敏感となっており、これらの事故は市民の原子力の安全に対する不信感を増大させるものである。

よって、市民の安全を第一とする本市議会としては、この放射能汚染事故に関し、早期の徹底した原因究明と管理体制の強化、明確化を図るとともに再発防止策を講ずるよう強く抗議する。

## 陳情

「米国产牛肉の拙速な輸入再開に対するBSEの万全な対策を求める」陳情採択

## 木村静枝の 一般質問

### 平和について

今年は戦後六十年。六十年記念式典がドイツやフランス、日本などいろいろあるところで、いろいろな形で行われています。その戦争を生き抜いてきた人たちは既に高齢化し、十年目の節目を迎えるのは今回が最後になるだろうと思われています。

第二次世界大戦六十年を迎えた世界は、ドイツ、イタリアがヨーロッパで、日本がアジアで行った戦争について、いかなる大儀もない侵略戦争、不正、不義の犯罪的戦争だったという共通の認識の上に立っています。

しかし、今日日本はこの戦争をめぐる、靖国神社参拝や教科書問題など韓国や中国との間で大きな外交問題となっています。戦後、過去への反省を明確にし、それを行為であらわしてきたドイツでは、このような問題はおきていません。日本は口では反省を言うことがあっても、それに反する要人の言動に厳しい態度をとらず、犠牲者への補償も避け続けています。世界でただ一つ、日本だけが自国の起こした侵略戦争をきちんと認識していない国なのです。

今憲法、教育基本法を変えて、国のために命をささげる「愛国心」を子どもたちに植え付けようとする動きが強まっています。侵略戦争を肯定し「国のために死ぬ」ことをほめたたえる「靖国史観」、その「靖国史観」を推し進めようとする人たちのつくる「新しい歴史教科書」が今年も文部科学省の検定を合格し、今年八月までの間に、全国一斉に行われる中学校教科書採択に加わっています。このような教科書を子どもた

ちに渡すわけにはいきません。

木村静枝議員は「この『新しい歴史教科書をつくる会』は、教師や保護者の声を聴かないで、教育委員会の権限で教科書の採択を決定するように圧力をかけているが、教師や保護者の声をよく聴いて決定していくのが筋である。那珂市も含む第三教科書採択地区ではどのようにして採択を決めているか」と質問しました。教育次長は「採択にあたっては公正な採択環境を確保し、厳正に、一切公平に保護者代表も入って行われています」と答弁しましたが、当然そうあるべきです。

政府によって再び戦争の惨禍を起こさせないようにするためには、国民一人ひとりが平和について取り組むことが大切です。木村議員は「行政としても平和問題に積極的に取り組む必要があるが、戦後六十年にあたって、どのように取り組むのか」と質しました。市長公室長は「市の歴史民族資料館で『戦後六十周年の記念展』を七月下旬から九月月上旬にかけて開催、訪れた人にインタビューをし、その内容を広報で知られていく」と答弁。木村議員はかさねて「戦争体験を語る会」や「戦争体験を絵にした絵手紙展」、「戦争体験記」などいろいろな方法で記録を残してはどうか」と提案しました。教育次長は「いろいろな手法はあるかと思うが、歴史民族資料館の方で検討していきたい」と答弁しました。戦争を忘れさせないためにも知恵をしぼってもらいたいと思います。

日本を愛するならば戦争をしない国をつくるのが一番大事です。しかし平和を維持していくのは容易ではありません。木村議員は那珂市長は平和についてどのように考え、どのように取り組んでいるか」と問いました。市長は「今度那珂市になって、広島市長から八月六日の広島原爆記念日において下さいとの招待を受けたので出席し、原爆の悲惨さを改めて確認したいと思っている。その前日は世界平和を求め、核兵器廃絶・平和都市宣言」をおこなっている全国の自治体の長が集まり、サミットのな会議をする。世界のへいわについては常日頃大事に思っている。今度『戦後六十周年の記念展』を行うにあたって、私有の戦時中の資料をたくさん提供した。二度と戦争が起こらないように平和な社会をつくるのが私の使命であると感じている」との答弁がありました。

## ニュース問答 靖国神社の戦争観 米紙も問題視してるね

**のぼる** とうとうでたか。

**ふゆみ** 何のこと？

「悪いのは米国」

**のぼる** 米国の新聞記事だよ。米国の代表的新聞といわれるニューヨーク・タイムズが靖国神社の問題を取り上げ、「日本の無罪判決を求める戦争神社」だと特徴づけたんだ。

**ふゆみ** 靖国神社がA級戦犯をまつるだけでなく、日本は正義の戦争をしたという主張を流す運動体だということが暴露されて問題になっている。米国の新聞がそういう記事を書いたのね。

**のぼる** その通り。靖国神社にある遊就館という戦争博物館では、日本の戦争は自存自衛の戦争だった、中国や朝鮮への侵略と植民地支配だけでなく米国への攻撃も、米国から強要されたもので、悪いのは米国だったと主張している。ニューヨーク・タイムズはそのことを紹介して、「ほとんどのアジア人、米国人は受け入れることができない」と書いている。

**ふゆみ** それはそうでしょうね。日本が一方的な奇襲攻撃で太平洋戦争に突き進んだのは歴史の事実なのだから。

**のぼる** この記事は靖国神社が「軍国主義の歴史を変えようとする日本の動きの象徴的な施設」で、「近隣諸国との関係悪化の核心」になっていると、鋭く問題を指摘している。

全国紙でも特集

**ふゆみ** 米国で靖国問題を取り上げたメディアはそれだけなの。

**のぼる** いやまだある。米国唯一の全国紙で、最大の発行部数をもつUSAトゥデー紙が見聞き特集を組んだ。この記事も靖国神社が過去の戦争を正当化し、A級戦犯は「でつちあげ裁判による殉難者」と描いていることを紹介して、「アジア中で怒りの的になっている」と書いているんだ。

**ふゆみ** なるほど。これまで首相の靖国参拝は主にアジア諸国で問題にされていると思っただけで、それだけではないのね。

**のぼる** 靖国神社が太平洋戦争でも「悪かったのは米英両国だ」という歴史観を流布していることを知り、その運動にお墨付きを与える首相の靖国参拝の重大さに気がついたようだ。

**ふゆみ** ブッシュ大統領が読んだらなんといいうか興味深いわね。

二〇〇五年六月三十日、「しんぶん赤旗」より

